

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立森之宮小学校

令和 7 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

学習指導要領が、令和 2 年度から全面実施され、令和 4 年に大阪市教育振興基本計画が策定され 4 年目を迎える。本市の児童は全国学力・状況調査の結果から自尊感情が低いことが顕著に見られる。また、学習においては「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、誰一人取り残さない学力を保障するための「個別最適化された学び」、ＩＣＴ 端末を有効に活用した調べ学習や話し合い活動を重視する「協働的な学習」など、児童の実態を見極め、令和の時代の新しい学び方を研究していくことが必要である。

本校の児童は、明るく素直な児童が多く同学年、異学年の「なかま」を大切にする意識が育っている。しかし、自尊感情が低い児童も一定数いるので自分自身のいいところみつけやそれぞれの児童に教員が寄り添うことが大切である。学習面では、自分の考えを深め表現する力も育ってきている。また、学習規律が確立され、環境も整備されている。全国学力学習状況調査でも全国平均正答率を上回っているが、一部の児童は学習の定着に課題があるといえる。児童同士が課題解決に向けた活動を通して、様々な意見を取り入れ、練り上げていくような協働学習を深めていくことが継続的な課題である。日々の学習を理解することはできても、そこから新たなものを導き出そうとする機会を十分に与えていくよう工夫をしていかなくてはならない。学校経営方針を「子どもの思いに寄り添い、個に応じた可能性を育む教育を創造する。」とし、協働学習を取り入れながら、「自ら学ぶ」子どもを育成に取り組んでいるところである。

【安全・安心な教育の推進】

○児童や保護者アンケートの結果から、自己肯定感・人権意識・規範意識に関する項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する者の割合 80% 以上を維持する。(R. 6 児童 94%、保護者 96%)

○児童や保護者アンケートの結果から、あいさつ・仲間づくりに関する項目について「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する者の割合 80% 以上を維持する。(R. 6 児 97%、保 81%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】※小学校学力経年調査（3～6 年対象）

○全教員が公開授業を年 1 回以上行い、児童や保護者アンケートの結果から、授業理解に関する項目において「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する者の割合 80% 以上を維持する。(R. 6 児 94%、保 96%)

○全国学力・学習状況調査の国語・算数の正答率の全国平均より 5 ポイント以上を維持する。(R. 6 6.45%)

○小学校学力経年調査における国語・算数の正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合をいずれの学年も 20% 以内とする。(R. 6 20% 以内)

○児童や保護者アンケートの結果から、運動に関する項目において、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する者の割合 85% 以上を維持する。(R. 6 児童 86%、保 85%)

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である握力・反復横跳び・立ち幅跳びの平均の記録を全国平均と同等以上にする。(男女共にほぼ同等であった。)

【学びを支える教育環境の充実】

○学習用端末を利用した家庭学習を週 1 回実施する。

○働き方改革を推進し、自主研修の時間を週に 1 回（2 時間程度）設定・実施する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小学校）

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。（R.6 79.8%）
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- ①児童アンケートの結果から、自己肯定感に関する項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する者の割合85%以上を維持する。（R.6 87.4%）
- ②児童や保護者アンケートそれぞれの結果から、あいさつに関する項目について「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する者の割合80%以上を維持する。
(R.6 児97% 保81%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校の学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を53%以上にする。（R.6 52%）
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。（R.6 国75% 算76%）
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強が好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。（R.6 87%）
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強が好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。（R.6 77%）
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。（R.6 65%）

学校園の年度目標

- ①主体的・対話的な深い学びの実現に向けた授業改善の観点から、全教員が公開授業を年間1回以上行い、小学校学力経年調査における授業に関する項目について「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する児童の割合前年度以上を維持する。（R.6 82.4%）
- ②児童や保護者アンケートの結果から、運動に関する項目において、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する者の割合前年度以上を維持する。（R.6 児86% 保85%）

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- ・学習用端末を活用した学習を毎日実施する。
授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。{ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く}（R.6 65%）
- ・ゆとりの日を週に1回設定・実施する。

学校園の年度目標

- ①学習用端末を活用した活動を毎日実施する。
- ②働き方改革を推進し、ゆとりの日を週に1回設定・実施する。

大阪市立森之宮小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小・学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。(R.6 79.8%) ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 <p>学校の年度目標</p> <p>①児童アンケートの結果から、自己肯定感に関する項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する者の割合85%以上を維持する。(R.6 87.4%)</p> <p>②児童や保護者アンケートそれぞれの結果から、あいさつに関する項目について「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する者の割合80%以上を維持する。(R.6 児97% 保81%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめを許さない学級・学校づくりを目指して、「いじめについて考える日」やアンケート等を活用し、実態把握といじめを許さない集団づくりに努める。</p> <p>指標 いじめアンケートを年3回、「いじめについて考える日」を年1回以上の校長講話や学級で考える活動、「なかま集会」を2回実施する。</p>	
<p>取組内容②【2 豊かな心の育成】</p> <p>児童会を中心に「あいさつ運動」を実施し、自ら進んで気持ちの良いあいさつができるように指導する。</p> <p>指標 あいさつへの意識を高めるため、「あいさつ運動週間」を年3回実施する。</p>	
<p>取組内容③【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>互いに認め合う集団活動をめざし、助け合い高めあうことのできる活動の工夫と充実により、児童の自尊感情や自己有用感を高める。</p> <p>指標 児童アンケートの結果から、自己肯定感に関する項目について、肯定的な回答をする児童の割合80%以上を維持する。</p>	

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 53 %以上にする。(R. 6 52%) ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「理科の勉強が好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87 %以上にする。(R. 6 87%) ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 %以上にする。(R. 6 77%) ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 70 %以上にする。(R. 6 65%) <p>学校の年度目標</p> <p>①主体的・対話的な深い学びの実現に向けた授業改善の観点から、全教員が公開授業を年間 1 回以上行い、小学校学力経年調査における授業に関する項目について「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する児童の割合 80 %を維持する。(R. 6 82.4%)</p> <p>②児童や保護者アンケートの結果から、運動に関する項目において、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する者の割合 80 %以上を維持する。(R. 6 児 86% 保 85%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>本校の児童の実態をつかみ、主体的・対話的な深い学びの実現に向けて、自分たちで立てた課題の解決に向けて、協働学習を通して学びを深める。</p>	
<p>指標 話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますかに対して、肯定的な回答をする児童の割合を 80 %以上にする。</p>	
<p>取組内容②【5 健やかな体の育成】</p> <p>児童の苦手意識や課題を把握し、体育科等において、体幹や体の感覚を意識した体づくりを行い、運動好きになる子どもの育成に努める。</p>	
<p>指標 運動に関する児童アンケートで、肯定的な回答をする児童の割合 80 %以上を維持する。</p>	
<p>取組内容③【5 健やかな体の育成】</p> <p>特別活動や保健等の授業を通して、自らの健康や食について関心をもち、よりよい生活を送ろうとする子どもの育成に努める。</p>	
<p>指標 健康に関するアンケートで、肯定的な回答をする児童の割合 80 %以上を維持する。</p>	

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>【ICTの活用に関する目標を設定する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習用端末を活用した学習を毎日実施する。授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 70 %以上にする。{ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く} (R. 6 65%) <p>【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日を週に 1 回設定・実施する。 <p>学校の年度目標</p> <p>①学習用端末を活用した活動を毎日実施する。</p> <p>②働き方改革を推進し、ゆとりの日を週に 1 回設定・実施する</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育 DX の推進】</p> <p>日々の学習や朝の活動等を通して、学習用端末の活用に慣れる。</p> <p>指標 児童アンケートの ICT 教育に関する項目で、肯定的な回答をする児童の割合 80 %を維持する。</p>	
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>これまでの学校運営を総括して働き方改革を推進し、ワークライフバランスを重視し、心身ともに健康な状態で学校業務に専念する。</p> <p>指標 ゆとりの日を週に 1 回設定・実施する。</p>	